

平成 26 年度 第 1 回中野市豊田地域審議会会議録

開催日時および会場 平成 26 年 5 月 28 日（水）午後 2 時～3 時 47 分
中野市豊田支所 2 階大会議室

出席委員および欠席委員氏名

出席委員（9 名） ・原田孝男 ・大内ふじ子 ・中島守成 ・臼井今朝徳
・高橋一美 ・西野公代 ・神田一枝 ・宮島一典
・小林日出夫
欠席委員 ・長澤京子 ・小林健一 ・中島源 ・高野日出男
・清野貴子 ・北山和夫
出席職員（6 名） ・豊田支所長 ・地域振興課長 ・地域振興課長補佐兼総務係長
・地域振興課長補佐兼振興係長 ・地域振興課市民生活係長
・事務局職員

議題および議事の顛末

1 開 会 【豊田支所長】

2 会長あいさつ

○会 長： ご苦勞様でございます。例年、最初の会においては、市長さんをはじめ、部課長さん出席のもと開催されておりましたが、本年度は豊田地域審議会の締めくくりの年ということで、委員さんそれぞれの思いを忌憚なく述べていただく中で、この一年、どうやって豊田地域審議会を収めていったら良いのかを少数精鋭の中でご議論いただければありがたいということで計画をさせていただきました。また、新たに委員になられた皆さんについてはたいへんご苦勞様でございますが、来年春で豊田地域審議会が終わりとなりますので、その期間内でご協力をいただきながら、有終の美を飾りたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

《新委員及び職員自己紹介》

3 協議事項

○豊田支所長： それでは協議事項に移らせていただきます。地域審議会の設置に関する協議書第 7 条第 4 項の規定により、会議の議長は会長がこれに当たっておりますので、会長様、議事進行よろしくお願ひいたします。

○議 長： よろしくお願ひします。着座のまま進行させていただきます。それでは

協議事項に入る前に、2点ほどお願いをさせていただきます。一つ目ですが、時間も限られておりますので、発言は簡潔に、要点をご発言いただければと思います。二つ目に、議事録作成上、発言はお名前を言ってからお願いします。議事進行についてご協力をお願いいたします。

(1) 平成 26 年度の市の主な事業について

○議長： それでは早速ですが、協議事項（1）の「平成 26 年度の市の主な事業について」を議題とさせていただきます。事務局より説明をお願いします。

○地域振興課長： ≪資料 1 を説明≫

○議長： ありがとうございます。それではただいま、平成 26 年度の市の主な事業について説明をいただきました。ご質問等ございましたら、先ほど申し上げた手順でお願いします。

○委員： 18 ページ、農林水産事業の中山間地域等事業直接支払事業費の関係で 13 集落とありますが具体的にはどこですか。それと次の 19 ページの人・農地プランはどういうものなのかな。

○地域振興課長： ただ今の●●委員さんのご質問、18 ページの豊田地域 13 集落の関係につきましても 13 地域決まっているようですが、この場では保留にさせていただきます。また後日ということをお願いできればと思います。

○委員： これの担当は農政課ですか。

○地域振興課長： そうです。

○委員： では 19 ページの人・農地プランはどのようなものですか。

○地域振興課長： 少しわかりづらいかもしれませんが、中心となる形態と申しますか、農業を積極的に経営している方々への農地の集積方法や、今後の農業について農業者の皆様等で話し合いを行っていただき、今後 5 年あるいは 10 年後の集落、あるいは地域の姿を描いていくための設計図を作っていくというのが人・農地プランというふうにお聞きしております。現在、中野市では、123 人の方が中心となる形態として位置付けられ、この地域では 13 人が登録されているとお聞きしております。

○委員： それから 20 ページの電気柵設置事業の豊田地域 4,000mはどこですか。

- 地域振興課長： 電気柵の設置 4,000mの豊田地域内での設置個所は未定でございます。
- 委員： この 4,000mはどこからでしたんだ。
- 地域振興課長： 予算上で計上してある数字でございます。
- 委員： 市の中では、何十キロかあって、豊田地域の分ってことだね。
- 地域振興課長： そうです。
- 議長： よろしいですか。
- 委員： はい。
- 議長： 他にございますか。
- 委員： ●●です。19 ページになります、事業名はちょっと違うかもしれませんが、平成 24 年の事業で以前も質問させていただいた、地域バイオマス産業化推進事業について、まだらおの湯ともみじ荘に使ったバイオマスのその後の実績等はどのようなようですか。
- 豊田支所長： まだらおの湯ともみじ荘に入れたバイオマスについては、まだ入れたばかりで統計的な数字はとっておりません。バイオマスにしたことによって燃料費がどれくらい削減できるのか検証するうえでの大きな問題は、お湯に入る人数によってもかなり違いますし、前年度と同じ条件ではないということです。指定管理者の㈱まだらおからは統計のとり方が難しいと聞いております。しかしながら、いずれにしても何らかの検証はしていかなければと考えております。
- 委員： いずれにしましても、今年もそういう事業名で、きのこの使用済み培地等を使い、要するに産業都市を推進するということであれば、データがなくてただ推進するというのも変な話で、これから庁舎等、大きな費用を伴う事業もありますし、しっかり検証していかなければ本当に無駄遣いになると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います
- 豊田支所長： はい。
- 議長： 他に何かありますでしょうか。

- 委員： ●●です。3 ページの地域活性化推進事業費の中で地域力支援金がありますが、これは市の単独事業ですよ。そして県の元気づくり支援金、それぞれの 26 年度の件数わかりますかね。
- 地域振興課長： 今回の質問ですがこの場ではお答えできませんもので。
- 委員： 管轄はどこですか。
- 地域振興課長： これは政策情報課の所管です。
- 委員： それぞれ県と市の件数がわかったら教えてください。それともう一つ、昨年市へ出した 25 年度の意見書の内容をおそらく市長も見ています。その内容を見て今年予算にある程度反映してあるのでしょうか、そのことについて多少でもお願いします。
- 豊田支所長： 意見書につきましては、今回出されたのが 3 回目になり、回答も出ています。
- 委員： 市の予算編成が確か 10 月か 11 月頃なので、当然間に合わないと思いますが、いずれにしてもあれだけやったのだから、そういうものを予算に反映させてあればいいなと思うのですけれども。
- 豊田支所長： いただいた意見書の個々の項目は検証してはございませんが、これまで 3 回、地域審議会から意見書の提出をいただいておりますので、やはりその根底には意見書も尊重しながらということを考えております。そんなことをご理解をいただきたいと思います。
- 委員： すみません、今のお答えで検証していないというのは、この地域審議会を尊重して事業を行っていくという言葉と反対のことを言っているような気がします。検証していただかなければこの地域審議会というのは有名無実化してしまい、10 年間何してきたんだという話になってしまいます。地域審議会は市長の諮問機関であり、諮問に答えるという形をとっていますが、諮問がひとつもなかった時、あとの方法は、審議会の中で意見を言うことができるということで、そういう地域審議会だと思っています。それが検証されないまま 10 年が終わっちゃうというのは非常に残念なので、あらためて検討いただきたいと思います。
- 豊田支所長： この件につきましては、このあとの今年度の地域審議会の活動等も絡んでくるわけでございますけれども、実際問題、地域審議会として意見書を

出し、それぞれ回答をいただいて、それが具体的に市の施策の中にどう活かされているかということが、審議委員さん個々でもなかなか分かりづらいのかなと思っておりますが、地域審議会の委員さんとしてもきちんと検証を進めていただきたいというのが事務局としての率直な意見であります。その中で、一緒に皆さんで検証しながらまだ出来ていないところはさらに要望していくとか、いろんな手立てをしながら、また進めていければと思っておりますので、ご協力をお願いしたいと思っております。

○議 長： 協議事項の2項目にも絡んできますので、今はこの説明された中でご理解をいただいて、ご発言をいただければと思います。他にございますか。

○地域振興課長： 議長よろしいですか。

○議 長： はい。

○地域振興課長： 先ほどの●●委員さんからご質問の中山間地域の直接支払交付金事業費でございますが、豊田地域で対象となる13地域がございますので申し上げます。

○委 員： 何ページかな。

○地域振興課長： 18ページです。集落を申し上げます。涌井、梨久保、親川原、美沢下、北永江、中原、ポケットパーク下、北原道上、南永江、毛野川、穴田、宮沖、碓の13集落でございます。

○委 員： 宮沖のどこかな、宮沖は字あちこちあるんだけどな。

○豊田支所長： 宮沖は替佐ですね。

○委 員： 替佐ね。中原も字かなり広いよね。全体かいこれは。

○地域振興課長： そこまではわかりかねますが。

○議 長： よろしいですか。

○委 員： はい。

○議 長： 他にございますか。

○委員： ●●です。4 ページのふるさと交流事業ですが、ふるさと回帰ということで I ターン U ターンは長野県が全国で一番あるということをいろんな報道等でお聞きしました。それだけの雰囲気と自然を持っているからなのかもしれませんが、そのへんもう少し力を入れて、人口減少を払拭するような事業展開をしていただきたいと思います。ただいろんなところに出て行って PR するだけじゃなくて、もっと具体的に、空いている農地と空いている家と都会の人を結びつけるような事業等を展開していただきたいと思います。これは意見、要望です。

○議長： 他に何か。

○委員： ●●です。28 ページ、花のまちづくり推進事業費ということで豊田地域 21 団体に花苗支給とあります。北永江区では毎年、夏と秋やっていますが、21 団体とはこのことなんですか。北永江も入っているということなんですか、これは各区単位に支給しているのでしょうか。

○豊田支所長： 区だけではございません。育成会だとか地元の公民館だとか、いろんな団体が受け口になって支給を受けて花の苗を植栽しています。

○委員： そうですか。

○議長： よろしいですか。他にございますか。

○委員： ●●です。1 ページ目、総務費の危機管理費の中の地域防災計画修正事業。私が言いたいのは、たまたまこの間の 24 日、災害訓練を永田地区でやったのですが、こういうことを地区毎にできればと思います。上今井、替佐等は千曲川があり災害があるのでやっているそうですが、例えば区長会で計画を立てて、市の危機管理課の各関係者に指導してもらい、そんなようなことを是非、各区がやってほしいと思います。

○豊田支所長： よろしいですか。

○委員： それからもうひとつ、5 ページの基金積立金 2 億 1,280 万ですが、どういう積立があるのか説明していただきたい。

○地域振興課長： 今の質問ですけれども、後程ご説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

○議長： 他にございますか。よろしいですか。

○委員：平成26年度のことではないけれども、その他の要望事項等があるのでまたどこかで設けていただければと思います。

○議長：今の時点では、今の説明の範囲の中でお願いします。また、後程という話でしたがご理解をお願いしたいと思います。

それでは他にないようですので、次に移りたいと思います。(2)今年度の地域審議会の活動についてを議題とさせていただきます。事務局より説明をお願いします。

○地域振興課長：〈資料2～4を説明〉

○議長：ありがとうございました。ただいま、今年度の地域審議会の活動について、それぞれの資料のご説明をいただきました。皆さんの中でそれぞれご検討してきたかと思いつつ、ご意見、ご質問をいただければありがたいと思います。発言については先ほど同様をお願いしたいと思います。

○委員：26年度はどんな方向で行くのか、まとめてことではないのか。

○議長：それを議論してほしいと思います。特に深い思いというのは正直なところ持っておりませんので、皆さんのご意見の中で終わりに向けていきたいと思っております。今までのように列記して要望というのも一つの方法かもしれませんが、この一年の中でどうやって収めていくのか、当然、審議会は終わりとなりますが、形として本当に終わって良いのか、終わった後、何らかの形で残した方が良いのか、残さない方が良いのか、どこかの組織にお願いするのか、頼るのか、いろいろあるかと思えます。どちらにしても豊田地域審議会は終わってしまうわけですので、そんなことも頭に入れながらご検討いただければと思っています。

進め方について、ご意見がございましたらいただきたいと思います。昨年、前会長が出された意見書について、この春に市の方から一応回答という形でいただきました。そこら辺を精査しながらご発言を頂ければと思います。どういうふうに進めたら良いのか私もよくわかりませんが、順繰りに行きますか。

総論の中ではここに書いてあるとおりでありますけれども、全体を見る中でこの総論が反映されているのかいないのか、総論に少子高齢化とありますが、そういう状況の中で地域農業も含めて、どうやって生き残っていくのかということだと思っていますが。

○委員：今回、豊田地域審議会へ初めて来て、始まったばかりですけれども終わるといって寂しく感じていますが、いずれにしてもこの地域審議会の

初期の目的ですよね、中野市と豊田村が合併してその地域差をなくすというのが一番の目的であったかと思います。そういった中で10年間活動してきて、初期の目的が何%達成したかということだと思っんです。半分くらいならもう少しかなということですけども、皆さんが70~80%は達成できたのではないかと判断されれば、これは終わりにしてもいいんじゃないかと思います。今回出てきたばかりでわかりませんが、そのへんどうなんでしょうか。

○議 長： 地域差があるのかないのか、あるとすればどういう形であるのか、逆にこっちの方が良い場合もあるかもしれません。地域差というのが歴然とあれば、そこやれここ直せってなるんでしょうけど、地域差というものを皆さんの中でどのように感じておられるのか聞いてみたいと思っています。
●●委員さん、地域差ってどのように感じますか。

○委員： 私はたまたま合併協議のあたりから携わりいろいろと質問してきました。そして、合併後は豊田地域審議会があると聞き、そこでは合併協議で言い尽くせなかったことが議論できるのかなと思いつつやってきました。しかしながら、そういったことが全く取り上げられなかったわけではないですが、なかなか思うようにいかなかったのかなと思います。そんな中、3月議会で地域審議会についての質問がされ、その答弁で「一体的な発展が図られるよう施策を具体化してきたところであり、豊田地域の振興策に寄与したと考える」と発言されたのを聞いて、私たちの思いとの温度差があるのかなと思いました。

それと最初の地域審議会の時に、合併特例債が最大90億円使え、その配分を地域審議会として見ていかないといけないという提案がありました。実際、市の施策の中で有効な財源でありますので、例えばその時の人口比で豊田地域がそれを使えるかといえばそうでもなかったわけで、そこら辺の思いと、実際の施策の中で反映できることと、豊田地域審議会として少しかけ離れていたのかなと、温度差としてはそんな思いがあります。

ただ豊田地域審議会がここで10年の区切りで終わります。終わってしまえばどうなるのかなということを考えた時、この意見書の中の(3/8)にある1区1事業に対する意見、これはとにかく1つの区で何か1事業やって活性化しようよ、人づくりとか絆を深めるような事業をやろうよというものですが、区長会さんでもきっとできないことだろうし、おそらく議員さんが力を尽くしてくださってもなかなかできない話だと思います。終わってしまえば本当に終わりなのですが、地域審議会のような豊田地域を網羅した会があってしかりかなと、ここら辺が豊田地域審議会というのがあったことの唯一のプラスだったかなと思います。

私の意見ですけども、豊田地域審議会が終わったならば、そういった

事業を考える会みたいなものを継続的にやっていければと、私はこの豊田地域審議会の終わりがそんな形がベストなのかなと考えています。

○委員： 私は上今井地区なもので、1年を通して何が心配だというと水害です。ここ何年もないので今年こそ来るんじゃないかと、毎年春先から収穫までずっと考えています。昔と違って水害があるとそれで終わりです。売れません。良くて動物園のエサになるくらいだと思います。まだ農業で一生懸命やっている年代もいますし、私ら50代60代も若い方ですけども、若い後継者が一生懸命やりたいと思っても水害があればもう気持ちも折れてしまいます。この中野市全体の中に災害のある地区はいろいろあるでしょうけれど、私の地区の上今井で言えば水害は大きな問題で、ぜひ堤防を作ってもらいたい。畑の方にもっと作ってもらいたいというのは大きな願いです。次の世代に農業を受け継ぐには堤防がないとできないと思います。消防団の人たちも一生懸命で人家はだいぶ守られています、人家が守られていれば田畑はいいではなく、田畑も守れるような堤防ができれば、それが審議会から上がっていってくれば良いなと思っています。

それと話は違うかもしれませんが、豊田支所もこうやって人数が減ってきましたが、本庁まで行かなければ手続きができないようになっては困るので、この支所をなくしてもらいたくないと思っています。相談に乗ってもらい、何かと地元繋がっているというか、本庁まで行けば当然専門家がいてくれると思いますが、やっぱり近いところにあるということが人間的にも心安くなって、やる気になる話もできるもので、ここの支所の存在はずっとあり続けてほしいと思っています。

○委員： ●●です。今、私が実感していることは、今は自分で運転していろんなところに行けるのでいいのですが、これから段々年にとって、バスとか交通網があまりない中どうなってしまうのかなという不安です。やっぱりバスに乗らないからバス代も高くなるし、段々年をとってくと買い物に行くのにも困るなど心配しています。インターネットで買うのも得意ではないので、今、行ける時はいいんですけども、スーパーも近くにないと、どうなってしまうのか心配しています。そういう点も考えていただきたいと思います。

○委員： ●●です。順番って言われたので、要望というか言わせていただきます。実はある施設の方から聞いたのですけれども、バラまつりは去年まで施設の方は無料で入場でき、介助について行った方も無料でしたが、今年は一人500円とられるらしいのです。そういう弱者の方、あるいは施設に入っていてあまり外に出る機会のない方が、綺麗なバラ、花を見に行ったときに、そういう経費がかかるのはいかがなものかなと感じます。

○委員： ●●でございます。その他の方でお願いをしようかと思っていたんですけども、先ほど地域格差ということで●●委員さんから話がありましたが、上今井とすれば築堤問題が一番だと考えております。先ほど概要説明の 27 ページで、国県の河川整備促進を同盟会を通じて行うと明記されておりますが、ご承知の通り上今井橋上流部の左岸は暫定堤防でございます。完成堤防に近々入るとお聞きしていますがまだ入ってきておりません。それから上今井橋上流の右岸それから下流の右岸左岸は農地ということもあり、全く堤防の計画すらないのが現状でございます。こうした中で地域審議会も 10 年を迎えますので、このあたり、一步ずつでも前進できるように、特にお願いしたいと思っております。

それから地域審議会の今後の活動についてでございますが、発足から 10 年経ちまして、今まで多くの委員さんがご苦労していただいて、市から回答等もいただいておりますので、その足跡を残しつつ、手前味噌で大変恐縮ですけれども、上今井地区の築堤問題とか交通弱者の問題とかいろいろありますので、そういうものを市の方へ要望というか提言みたいな形で出していただいて幕を引くというのが良いのではないかなと思います。ただ 10 年経ったから解散しますでは継続性がなくなるので、その辺、後日でも時間をとっていただいて、委員さんの意向等を出していただければありがたいかなと思います。

○委員： ●●です。先ほど上今井では築堤と水が入るといった話がありました。北永江、永田では土砂災害が大きな問題で、先日、土砂災害の訓練を行いました。それと重要な生活用水ですが崖のところを通っているので、いざ水害で落ちた場合にはどうしようもないという状態です。この水路については危険箇所もいっぱいあり、区長や水利組合長は大雨が降った場合には夜寝られないというような状況にあります。そういうものについては一気にできないものですから、長期的に計画をたててやっていただければありがたいと思います。

それと永田地区では少子高齢化で非常に子どもが少なく、村のお祭り等々も存続が危ぶまれているところがございます。そういったものを見れば我々の方も問題があるんですけども、そういった大きい課題を取り組んでいただければ、豊田審議会があってもいいと思うわけでございます。けれども、一旦、10 年間という豊田審議会の期間があれば一応一区切りとして、新たにテーマや目的を決めていった方が良いのかなというふうに思います。

○議長： ありがとうございます。今、それぞれご意見をいただきました。審議会そのものというわけではないでしょうけれども、形はどうであれ、そのような会、団体は残してほしい、継続してほしいという意見。それから水

害、上今井、替佐もそうですけれども一番重要な部分かと思えます。暫定堤防から本堤防化をしていますけれども、まだつながっておらず、そこができないと誰が見ても完成ということは言えない、そんなことも要望していかなくちゃいけないかなと思っております。水が入れば農業も危なくなるというような状況、それから交通、バスがなくなればいろいろな部分で大変な問題を抱えていると思ってます。また、●●委員さんが言われたバラ公園の入場料については私も把握していませんけれども、有料化になったいきさつが分かればまたご発言をいただければと思います。また、●●委員さんからも築堤の本堤防化、今、審議会がそういう部分を象徴する中で、そういった話を挙げていったらどうかという話もございました。また、●●委員さんからは生活用水、永田では水路等危険な場所があるということで継続的な整備、水路の安全確保をできればお願いしたいというような内容かと思えます。また、子どもが少なくお祭りの存続が危ういという話ですが、これは永田に限らず替佐もそうですし、中野市全体どこの区も抱えている問題だというふうに思っています。そういう意味ではでは小学校、中学校、保育園の問題が直近の課題になると思っています。そんなことも含め、今、何が格差としてあるのかないのかという部分で、一人ひとりご意見をいただきましたけれども、今、言ったような内容が大よそのご意見かと理解をいたします。そんなことで、ここに回答も出されておりますけれども、今いただいた内容等を、少しずつ集約する中で、市に対してお願いする部分、協力する部分がそれぞれあるかと思えますので、そこら辺は会を重ね精査していく中で文章作りをしていきたいと思っていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

他にご意見等ございましたら、質問等ございましたらお願いします。

○委員： どうしたらいいでしょうか。

○議長： いろいろ問題はあるでしょうけれども、今、大まかに出された意見がそういう意味では本質的な要望かと思えます。それと今、●●委員さんから出されたバスの問題もそうですし、病院に行くにしても買い物に行くにしてもなかなか大変で、バスはあった方がいいけれども乗ってくれなきゃ営業も難しい、上今井から安源寺にぬける道路の拡幅も市の方では計画には入っているようですけどなかなか実現されない、そんなことも審議会として、最後の要望としてまとめの段階で取り入れていければと思っています。

○委員： 特例債もこの前の会議では平成 32 年までと言っていたね。

○議長： 5 年延長しましたから。

- 委員： 旧中野は 86.7%、旧豊田は 13.3%くらいだ。平成 32 年まで伸びたということもあるので、今、●●委員とも話をしたけど、一応、平成 27 年 3 月 31 日で区切って、新たに会を設けて、どういう方向でもっていくかということではないだろうか。
- 議長： それは実現するかどうかは別として、会議の中で決まって、方向性が出ていけば考えていきたいと思います。先ほども言いましたけれども、現状としては豊田審議会は当然終わってしまうわけです。もし、これに代わる組織を作るとするならどういう形で作っていくのかということも議題になると思います。また、メンバーもどんなメンバーになるか、今の方々がそのまま継続するのかもしれないのか、いろいろあると思いますので、最後の段階では議論をいただく場が当然出てくるかと思っています。
- 委員： それもまた一旦切のか、続けていくのか、そのあたりが第 2 回目以降の会議が大事になってくると思います。
- 議長： それでは他にございますか。
- 委員： その他の要望事項はここでいいですか。
- 議長： どうぞ。
- 委員： 要望ですがお聞きいただきたいと思います。いつも私の話の切り口というのはやっぱり地域の拠点ということを考えています。防災マップを見れば避難場所がそれぞれの地域で指定されて、豊津はこの支所、上今井は豊井小学校になっております。実際の形を見れば確かに豊井小学校は上今井の地籍にありますが、荒山集落がありまして上今井本体はそこから 1 km 半か 2 km ほど離れたところにあり、災害時に豊井小学校まで避難するのも大変なのかなと思います。そういうことを全市的に考えていけば本当にたいへんな話になりますが、ただ、あそこは上今井だからあっちへ行けばいいではなくて、最低限、災害があった時に避難する地域の拠点というのを、実際、自分の家から歩いて行ける場所に整備をしていかなければらいことになってしまうのかなと。ただ地図の中で割振りしただけの避難所では、いざという時に行くところがなくなってしまいますので、そこら辺をよく検討してもらいたいかなと思います。それには建物になってしまうと思いますが、例えば上今井の集会場、そこら辺を拠点ということで手厚い補助金で建設するとか、よく検討いただいて、地域の拠点としてそれぞれのところを見ていただきたいかなと思っています。
- それとちょっと小耳にはさみまして、B&G 海洋センターの体育館はか

なり利用されているけれどプールの利用は少なく、プールの方は閉鎖したい意向だというような話を聞きました。昔、豊田村の時は夏場から秋までテント張って、夜のにぎわいの場になっていたような気がするんです。それが合併してからテントを張らなくなり、夜は虫が飛んできてとても営業できないということで、どんどんマイナスに振れていって、結局いらぬ建物になってしまう。情報センターも建物が空いている。空いているからそんなとこってという話なんですけれども、施策の中で変更された部分であり、例えばこの支所もそうですが、もしこの先、建物等が不要となったときは地域で使わせていただけたらとか、そんなことが総合的な面で大切なのかなと思います。それから質問ですけれども、道の駅農産物の建物が出来ましてどんなものなのかなと、お聞きしたいと思います

○豊田支所長： 道の駅の農産物直売所は平成25年度事業で約4,300万円かけて整備し、4月20日オープンということで進めてまいりました。私も何度か行っておりますが、たまたま4月のオープン当初はまだ農産物もそれほどなく、山菜等も出る前だったので非常に品ぞろえが少なかったのですが、ここに来てアスパラとか地域のいろんな野菜が出てきまして、会社の方に聞きますと連休中の売り上げはかなりあったとのことでございます。その後の平日の入りこみにつきましては去年と比べるわけにもいきませんが、まあこんなものかなという話は聞いております。また、会社の方とも話しながら、昨年までは北信州みゆき農協でやっていましたので、売り上げ等も比較しながら検証して、対策が必要な場合はしていきたいと思っておりますのでよろしくお聞きしたいと思っております。

○議 長： よろしいですか。

○委 員： はい。

○議 長： 他にございますか。

○委 員： 今の道の駅についての話しですが、毎週水曜日が休みになっており、前の特産物を出す会議の時に休みを段々なくすようにするとお聞きしました。要望なのですが、仕事は順番に休んでいただくようにして、365日とまではいかないまでも、なるべく休まないで開けていただくよう要望いたします。

○豊田支所長： それは要望としてお聞きしておけばよろしいですか。

○委 員： なるべく実行していただきたいのですがお願いします。

○豊田支所長： 検討させていただきます。

○議長： はい、それは検討していただければと思います。他にございますか。

○豊田支所長： 先ほどのバラ祭りの関係で今年から有料になったというお話でございますが、今、調べたところ、施設に入所されている皆さんには、施設へ人数分プラスアルファの無料券を送付してあるということでございます。そして、障がい者手帳を持っていらっしゃれば当然無料で入場でき、付添いの方も1名無料だとお聞きしております。今年も障がい者の皆様への配慮を実施しているということで、今調べてきたところでございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員： ありがとうございます。無料券は施設の人数分あげているのですか。

○豊田支所長： 人数分プラスアルファをお渡ししてあると聞いております。

○委員： ありがとうございます。

○議長： 他にございせんか。

○地域振興課長： 議長、先ほどの●●委員からのご質問、5ページの基金積立金の内訳について申し上げたいと思ひますのでお願ひいたします。基金積立金で本年度2億1,285万4千円でございます。この内訳は財政調整基金で100万円、減債基金で50万、職員退職手当基金で7千万、公共施設等整備基金で1億2千万、それから車両購入基金で5万円、そして合併振興基金で2,130万4千円、以上トータルで2億1,285万4千円になっております。

○委員： 合併振興のなんだって。

○地域振興課長： 合併振興基金で2,130万4千円以上でございます。

○委員： 合併振興基金とはどういった基金ですか。

○地域振興課長： この場ではお答え出来ないので確認しておきます。

○委員： はい。

○議長： それでは全体をとおして他にご意見ございせんか。なければ今年度の地域審議会の活動について、ご審議いただきました内容をもって閉じさせていただきたいと思ひます。また、この内容について審議会が開かれるわ

けでして、それぞれ意見等、今出た内容に肉付けするなり、自分の家に持ち帰った中で検討いただいて、次の審議会の中で議論いただければと思います。それでは協議事項の2番については終わらせていただきます。

それでは協議事項3、その他でございます。中野市水道事業運営審議会委員及び中野市地域公共交通対策協議会委員の推薦について事務局から説明をお願いします。

○地域振興課長：　《任期、内容等説明》

○議　長：　ありがとうございました。ただ今事務局から説明をいただきましたがどのように選出したらよろしいでしょうか。

○委　員：　選考委員。

○議　長：　他になければ選考委員ということでご協力いただきたいと思いますが、まず、私の方から候補者のご提案させていただいてよろしいでしょうか。

○各 委 員：　はい。

○議　長：　それではお名前を申し上げてご了解をいただきたいと思います。中野市水道事業運営審議会委員さんには臼井今朝徳委員さん、神田一枝委員さん。それから中野市地域公共交通対策協議会委員さんには高橋一美委員さん、それぞれにお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

○各 委 員：　はい。

○議　長：　ありがとうございました。それでは各委員さんにご協力いただきたいと思いますがよろしくをお願いします。

ここで閉めたいと思っておりますが最後に言い残したことがあればお伺いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

○委　員：　保留になっている質問の回答はいつごろになるかな。この次の会議とか郵便で配るとか。

○委　員：　回答で書いてもらって送っていただければ一番いいと思います。

○豊田支所長：　急なものでしたらそうさせていただきますけれども、この次の会議でよろしければその時にまとめさせていただきます。

○議　長：　特に緊急性がなければ次回の会議でどうでしょう。

- 委員： 予算のことだから至急お願いしたいな。
- 豊田支所長： それではこちらの方で調べさせて頂いて、委員の皆様にご報告したいと思いますのでよろしくお願いいたします。
- 議長： それではよろしいでしょうか。
- 委員： いいですか。●●委員から話が出た道の駅の件で、私もたまたまその状況を見たので言いますと、ゴールデンウィーク中はお客さんがどんどん来ているのに店が閉まっているというような状況でした。他の時に休んでもゴールデンウィークのお客さんがいっぱい来ているときには店をやっていた方が良いのかなと考えていました。ぜひお願いしたいです。
- 議長： 他にございますか。
- 委員： 次回の会議はだいたいどんな形で設けていかれるのでしょうか。どこかで決めておかないと全体が決まってないから半年くらい先までいってしまうこともあるのではないのでしょうか。
- 議長： そういう意味では先ほど出た意見が本当に、今、一番大事な部分をお話頂けたのかなと理解をしております。農業の振興策など細かいところは多々ありますが、そこら辺を精査しながら順々に絞って行って議論いただく中で、最後に提言ができればと私の中では理解しております。特に振興についての強い希望が私自身あまり無いので、皆様のご意見に従いながら協議して、全体の意見ということでご提言を申し上げるような会議をこれからもっていければと思っておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。今日ご発言いただいた内容を自分の中で整理し、肉付け等できましたら、次回ご発言いただき、それをまた基にして、もう少し突っ込めるかどうかわかりませんが、話をしながら進めていければと思っております。
- 委員： だからさっき言ったように第2回以降が大事だから。
- 議長： そういうことでよろしくご理解をいただきたいと思えます。
それでは予定した議題はすべて終了しましたので、議長を下ささせていただきます。豊田支所長さんをはじめ、関係の皆様にご感謝を申し上げ事務局にお返しをしたいと思います。ありがとうございました。

4 その他

[なし]

5 閉 会 【豊田支所長】